

# 鉾立小学校木造校舎 プレハブ棟設置及び特別教室棟改修に係る説明会 議事録（要旨）

日 時：令和5年2月22日（水） 1回目 16：00～  
2回目 19：00～

場 所：鉾立小学校

出席者：玉野市長、教育長、教育次長、教育総務課長

参加者：1回目 19名（保護者11名 地域 8名）  
2回目 20名（保護者 3名 地域17名）

## 1. 開会（挨拶）

### 市長

私が市長就任後の4月に改めて、地元説明会を開催させてもらい、その時の皆様のご意見、またアンケート結果等から木造校舎の耐震化を図ろうと言うことで、改めて案を作り、(令和4年)6月の議会に予算を計上した結果、ご存じのとおり、議会の方で承諾得られなかったということで、再びまた、考え直さなければならない状況になっていた。木造校舎については、私も価値のある物だと思っており、何らかの形できちんと残して行きたいとは思っているが、このまま使い続けていくというところはやはり問題があるかと思う。

児童の安全安心を最優先に考えるという観点から、できるだけ工期が短くてすむプレハブ校舎を建て、そこで安全安心な環境の中で、子どもの教育を行っていこうと考え、今回のプレハブ校舎を立てるという案に至った。当初考えていたプレハブのものよりも少しブラッシュアップし、皆さんの意見を聞きながら進めていこうと言うことで、今回の案となっている。今日は最終案と言うつもりで提示していきたいと思っているので、皆さんの忌憚のないご意見をいただきたい。

## 2. 説明

### 説明（教育委員会）

- ・プレハブ棟建設箇所及び間取りイメージ
- ・特別教室棟改修のイメージ
- ・今後の予定（予算計上時期、供用開始時期等）

### 3. 【1回目】意見交換（一部文脈修正）

#### 参加者 1

6月の予算計上にあたって、プレハブ棟設置は設計書も何もしないでいくのか。

#### 教育総務課長

設計も施工も一本で実施するようになるデザインビルドというやり方になる。玉野市で言えば、消防庁舎を建てたやり方と同じやり方で進める。

#### 参加者 1

木造校舎の方だが、こちら（プレハブ棟）に変わった場合、維持管理の方はどういう計画でやっていくのか。そのまま放っておくのか。

#### 教育総務課長

そのあたりの方針決定は令和5年度中に決定していきたいと考えている。5年度中は、皆さんこの中（木造校舎）で過ごすことになるので、来年度（令和5年度）中に方針決定をして、改めて説明をしたと考えている。

#### 参加者 1

方針決定というのは、どのように使うかということか。

#### 教育総務課長

そうである。

#### 参加者 1

今は運動場も使っているのに、他に誰が使うか分からないが、小学校にみんな立ち入ることができるのか。それと、そういったことは学校がある限りは不可能だと思うが、将来的には分からないが、そこを今決める必要もないと思うが、維持していったらよいと思う。公共施設の床面積を減らすというのが大前提でこうなったと思うが、これによる交付税はどうなるのか。学校面積が減ると交付税が減ると思うが、目標に近づいたということで、たくさんもらえるということでよいのか。

#### 教育総務課長

まず校舎をどうしていくかであるが、当面は維持となる。どのように維持していくかということところを5年度中に方針決定をしていこうと思う。

おっしゃるとおり、この建物と運動場を学校として使って行くわけであるため、例えば、地域の方々が自由に平日の日中に出入りできる状態には中々できない。あるいは民間に払い下げはあり得ないことであり、どのように維持していくかを5年度中に方針決定していきたいと考えている。交付税については、学校施設に対しては、学校数、学級数、生徒数に基づいて交付税は決定されるため、建物を維持しても維持しなくても全く変わりはない。

## 参加者 2

今に関連して、面積を減らすという目標から言ってみると、木造校舎を残していたら面積が増えるのではないのか。鉄立小学校の木造校舎はどこの所有になるのか。学校から外れるのであれば面積は減るが、外れないのであれば増えることになる。木造を残し、維持していくという考えは確かか。老朽化して幽霊屋敷のようになることはあってほしくないので、維持管理は市の方ですということではよいのか。

## 教育総務課長

その辺の方針を5年度中に決定するという事。どのように維持していくかを5年度中に決定する。床面積、確かに鉄立小学校だけの話でいくと増えることになるかもしれないが、公共施全体として減らしていくという目標であるので、全体で見て、今後20～30年のスパンで減らしていくということであるので、瞬間的に増えるということは可能性としてはあり得ると考えている。プレハブ棟が完成して、この校舎（特別教室棟）の改修が終わると木造校舎は学校施設としては、役割を終えると思うので、一応学校の敷地面積からは外れることになるが、当面は維持していくことになるので、市の持ち物の公共施設としては、瞬間的に増えることになると思う。

## 参加者 1

それは普通財産にするということか。行政財産ではなく

## 教育総務課長

そこを含めて5年度中に方針決定をしていきたいと考えている。

## 参加者 3

このプレハブ棟の間取りイメージを見たが、各教室が保育園の航空写真と比較して5m×7.4mと書いているが、実感が湧かない。今、鉄立小学校で使っている教室と比べると体感としてどのくらいになるのか。例えば、畳でいうと何畳になるのか。今の教室の何割くらいになるのか教えて欲しい。

#### 教育総務課長

今の鉾立小学校の教室が8メートル四方ぐらいになる。それよりは、若干小さくなる。

#### 参加者 4

この中（プレハブ棟）に支援教室が入っていないが、この学校には必要ないということか。決まったとしたら保育園の解体が始まるのはいつか。

#### 教育総務課長

支援学級については、今現在支援学級がないということなので、必要となった際にはこれから考える必要はあるが、部屋のやり繰りをするのか、胸上小学校に通っていくことが可能性としてはあり得ると考えている。

工事の開始については、これから予算計上して、さらにその後の契約となるので、確実にこのあたりとは言えないが、夏休み過ぎから解体が始まっていくのではと考えている。

#### 参加者 5

私はPTAでもなんでもないが、オブザーバーとして、母校の立ち位置として出席している。私が一番気になるのは、耐震補強ができないことは全く問題ないと思うが、今すぐに南海トラフ大地震が起きた時に子どもの命が守れる状態にあるのか。木造校舎が倒れるのか。子どもたちに震災・防災グッズを配布しているのか。今後どうなるのか分からないが、子どもの命を守るのが第一であると思うが、また一年間供用開始までである。もしこの瞬間に地震が起きたらどうなるのか不思議なので、どのような見解なのか教えてほしい。

#### 教育総務課長

そのあたりについて議論がされてきたところで、できるだけ早く耐震補強なり、プレハブ棟の設置について取り組んできた。震度で言うと、これまで震度5までは耐えてきた実績があるが、南海トラフ大地震が起きた時にどうなるかは正直分からない。基準を満たしているので、ある程度のところまでは何とか耐えるとは言えない。

防災グッズについては、把握していないので、この場ではお答えできない。

#### 参加者 5

配布する計画は考えないのか。

**教育総務課長**

避難訓練を日々行っていると聞いている。防災グッズを配布する予定は今のところない。

**参加者 1**

先ほどの支援教室がないということで、その子は胸上小学校に通うという回答でよいのか。

**教育総務課長**

そういう可能性もあるということ。支援の内容によっては、新たに設置することが難しいため、そういう可能性もあるということ。

**参加者 1**

それでよいのか。

**教育総務課長**

そのあたりの設置は県が決定することでもあり、他地区でも他の学区に通うことは実際に発生している。

**参加者 1**

教職員の関係も県であり、全て県という見解であるが、今子育て支援は全国的にも注目されていることであり、すぐ棟を増やすことにはいかないが、今まで父兄の方、家族の方、5年以上耐えてきて、負担がかかってきた中で、どこの市町村も独自のものを、玉野市も病院の無料化など取り組んでおり、前向きなところが見えるが、端っこだから負担がかかっても良いとはならない。

保育園にしても山田まで行っているが、誰も何も言わないが、いきなり潰されて、車があるので行きなさいはおかしいと思う。強引に全てやってきて、教室がないので胸上小学校に行きなさいはおかしい話で、それなりのことを県が言うからではなく、先生の数も増やして、働き方改革として先生方も色々余裕を持って子どもたちに接することができるように玉野市として頑張らないといけないと思うし、県に対しても陳情するとか、保育園の関係なども40年来変わっていないので、先生関係のことも県がこれだけの人しか派遣してくれないのでできないのではなく、もう少し玉野市で考えてもらえたらと思う。先生もない、部屋もないから胸上小学校に行きなさいは、通らない。

### 教育総務課長

部屋がないからではなく、支援の内容によってはそういうこともあり得ると言った。それ以外の部分については、ご意見としていただく。

### 参加者 6

レイアウトイメージだが、プレハブの間取りはこれから練られていくのか。

今まで鉾立小学校が廊下を間にして教室が横にあるというのが慣れていないので、学年がどういう風になるのか。放課後児童クラブが一緒の棟になるので、廊下を挟んで隣側に高学年が授業をしている学年があったりするのか、イメージが湧かない。廊下を挟んで他の学年が授業をしている賑やかさで集中ができるのか。

日当たりの面で、今まで考えたことがなかったが、今まで横に並んでいた教室で日当たりが均等に、どの学年もあったと思っている。この様子になるとどこが明るくてどこが暗くて、配膳室が奥にあるので、給食がどこから運ばれてくるか分からないが、どのような様子なのか。実際どこの場所がどんなクラスになるかが分かれば、もう少し煮詰まって見えてくるが、間取りはこれからでよいのか。児童クラブはこのプレハブ棟ではない別の小さなプレハブを建てて、その場所（もともと児童クラブを予定していた箇所）に支援教室が入ったらありがたい。そのような考えを持ってもらいたい。ここが教育も育児もしやすいところであったため、支援の子が生まれたら他のところへ行かさなくてはならないのが、親の気持ちとしたら辛いので、同じ教室でできたらよいと思う。

### 教育総務課長

間取りについては、完全にこれからである。確かに配膳室は北にあり、北の道から入ってくることをイメージしているが、普通に考えれば南側の道から入ってきた方がトラックも出入りしやすいので、南側に置く可能性もある。実際、子どもの動線がどうなるかが決まっていないので、それに合わせて間取りは考えていきたいと思っている。

繰り返し出ている支援の話については、決して鉾立小学校に置かないということではなく、内容によってはそうなることもあると言っている。

### 参加者 7

水回りはトイレがあるくらいか。

### 教育総務課長

今現在は北側に集めている。トイレと保健室と配膳室に水回りがあるイメ

ージ。放課後児童クラブにも必要であればこれから考えていく。

## 参加者 2

この耐震については長い間お願いし続けたことで、今回初めて具体案ができたことについては感謝している。校舎については、住んでみないと分からないことがたくさんあると思う。外から見ても採光の問題や騒音の問題などいろいろ工夫しなければならないことがあると想像がつく。支援教室については、支援級がないため難しい問題ではあるが、教育相談室がないというのは学校として心配と思う。造りについては、一番よく分かるのは学校の先生だと思うので、今後しっかり話し合いがあると思うが、先生の願いや意見を聞いてもらって、今の子どもたちが快適に過ごせるようにしていただきたい。子どもたちも願いや希望もあるが、言語化して伝えるのは難しいと思うので、子どもの様子を見てもらい、何が必要であるかを大人で考えていただきたいと思う。そのためには、保護者の方や地域の方も意見をたくさん言っていきたいと思う。何にしてもこれを実現してほしい。今何かがあって、命が失われたとしたら、私たちみんな一生背負っていかなければならない問題となる。何年も長い間お願いしてきて、それを実現できていないため、その責任はあると思う。ぜひ実現してほしい。

先程の話にあったように、防災グッズや特別な避難訓練が必要だと思うので、鉾立小学校独自の防災計画を作って一年間命が守れるようにしてほしい。

## 教育総務課長

ありがとうございます。

## 参加者 8

これから子どもが減っていく中で、いつかは廃校という可能性はあるのか。廃校になる基準があれば教えてほしい。

## 教育総務課長

統廃合、適正規模化については、現在検討委員会に諮問して協議を進めているところである。その答申に基づいて今後計画を立てていくということであるので、現時点で廃校の可能性はあるが、廃校になるのかどうかを言及することはできないということをご理解いただきたい。

#### 4. 【2回目】意見交換（一部文脈修正）

##### 参加者 9

二つ質問がある。一つ目は日当たりについて、プレハブ棟を建てるにあたって考慮していただいているのか。二つ目は去年6月に否決されたので、今回も否決されることになれば、生徒の安全性は約束してもらえるのか心配である。

##### 教育総務課長

日当たりについては、今の校舎は全て南側に窓があって日を取り込めるようになっていて。そこと比べると、どうしても全ての部屋に日が入るというものではないというのが事実である。西側東側に窓を付くようになると思うので、そこから日を取り込む考え方になると思う。

否決された場合については、これがないように頑張るのが我々の仕事であり、仮に否決された場合についても、できるだけ早期に子どもたちの安全を守るような手は打っていく必要があると考えている。

##### 参加者 10

黒板はどちら向きに付くようになるのか。日が入らないところで字は書けない。南からでないノートは取れないと思う。南側から日が入るに向きを変えられないのか。

##### 教育総務課長

全ての教室が南側に窓を向けるというのは大きさに難しい。

##### 参加者 10

教室によって黒板の位置が変わるのか。

##### 教育総務課長

教室によって統一はするが、光が入る向きは異なる。

##### 参加者 11

プレハブは30年耐久性があるとなっているが、震度は具体的にどのくらい耐えられるのか。

##### 教育総務課長

具体的に、例えば震度6なら大丈夫とかは申し上げられない。耐震基準を

満たしているので、大きな地震に対して倒壊する危険性が低いという表現にとどまる。そこまでしか言えないのでご容赦いただきたい。

**参加者 12**

他の学校に中廊下がある学校はあるか。

**教育総務課長**

屋内に廊下がある学校はあるが、廊下を挟んで教室が向かいあう構成の学校はないと思う。

**参加者 12**

先程からの日が当たらない、廊下を挟んで向かいに教室がある。それなら2階を建てる方法もある。

**教育総務課長**

2階建て3階建てにすれば可能かと思うが、限られた位置、限られた予算の中でいかに実現していくかを考えているので、ご理解いただきたい。

**参加者 12**

他にない。中廊下があって両方に教室がるような校舎は。

**教育総務課長**

玉野市にはないが、それが決して駄目ということではないので、そういうことも考えられるとは思っている。

**参加者 12**

2棟建てるとか別の方法もあるのではないか。これでは日が当たらない。取り敢えずできればよいという問題ではない。中廊下があるような学校はどこにもない。

**教育総務課長**

他市他県でどうかというところまでは調べていないが、繰り返しになるが限られた敷地、限られた予算の中でいかに実現できるかを考えている。

**参加者 12**

そうであるが、横に2つ建てたとしても予算はそれほど変わらないのではないか。2つ建てれば日が当たる。

**教育総務課長**

同じ予算では難しい。

**参加者 12**

そんなには変わらない。倍にはならない。

**教育総務課長**

倍まではいかないが。

**参加者 12**

日が当たらないといけない。

**教育総務課長**

百点満点の案ではないと思うが、子どもたちの安全をできるだけ早く確保するということで、これを最終的な案と考えているので、ご理解いただきたいと思う。

**参加者 12**

それはいけない。それと廊下があったら、声がよく聞こえる。

**教育総務課長**

声は特に問題ないと思う。

**参加者 12**

どこにも中廊下があるような学校はない。それをプレハブで建てると余計声が聞こえるようになる。せっかくするのだから、より良い案にしてほしい。ただ、議会で通らないことにはどうにもならない。

**教育次長**

言われていることは非常に分かるが、我々も限られた環境を考えながら、この案を最終と思っており、来年度（令和5年度）中には何とかしていきたいという思いであり、苦しい回答にはなるが、是非これでご理解いただきたいと思う。これ以上変更すると、来年度（令和5年度）中にはできなくなる。

**参加者 12**

私も建築関係の仕事をしているが、小さくした方が安くなると思う。

### 教育次長

そのあたりも考えて、研究もしていきながら、このような案となっているので、何とかお願いしたい。

### 参加者 12

幅が十何メートルもある。これを半分にした方が安くなる。

### 教育総務課長

半分にすれば安くなるのは、そのとおりだが、それを2つ造らないといけない。3.2メートルを横に収めるのはギリギリになる。非常に難しいと思う。ご理解いただきたい。

### 参加者 12

理解できない。

### 参加者 13

こちらの教室（特別教室棟）は2階建てであり、東側は見下ろす感じになり、真ん中に廊下があり、窓は東側しかない。廊下側と東側しかない。南には教室が並んでいるので、窓ができない。そうすると唯一の東側は見上げたら2階建てがある。反対側には廊下がある。穴倉になったような感じになる。色々要望する中で、良い案だと最初は思ったが、よくよく考えてみると同じしてもらえるのであれば、先程の方も言っていたが、暗くて穴倉で、しかも教室は狭くて、廊下より西側は良い光は入らず西日が入る。窓がないうえ、辛いのではないかと。もう少し使い勝手が良く、みんなが喜ぶような、お金の限りがあるとばかり言うが、1棟を2棟にしても、喜ばれるものを造って欲しい。敷地からしてこれしか建たないと言うが、もう少し考えを進めてほしい。何かできそうな気がする。2棟になれば経費は高くなるかもしれないが、もう一步お願いできないか。

### 教育総務課長

先程は申し上げなかったが、（令和4年）6月議会で否決をされた理由というのは明確には示されていないが、実施設計で1500万予算計上し、その先の耐震化の費用も含めて2億5000万以上かかるといところが原因となったのではないかと私は理解している。2つ棟を建てるとなると、トータルでそのあたりの金額になってくると思うので、なかなか議会の理解、承認を得にくいのではないかと。今回、否決される訳にはいかないの、で

きる限りのことをこの中に詰め込んだ、できる限りのことをしたというものであるとご理解をいただきたいと思う。いろいろな考えはあろうかと思うが、これで何とかご容赦いただきたいと思う。

### 参加者 13

三方に窓があり、一方の窓から西日が差し込むようなところに私は住みたくない。そのようなところに住んだこともない。我が家であればそのようなことを絶対にしない。穴倉もいいところである。使ってみて良かったと言えるものを造ってほしい。

### 教育次長

新しくプレハブを建てるにあたって環境は確かに大切である。多少どうしても日の当たらない部分が出てくると思うが、教育環境的には、極力良いものを造っていきたいと思っている。100%はなかなか難しいとは思いますが、このような形で相談をして進めて行きたいと考えている。今後、(令和5年)6月議会で提案させていただいて、可決いただいたその後、令和5年度内には何とかという思いが非常に強くあるので、理解できない部分も多々あるかもしれないが、我々としてもしっかり進めていきたいという思いでここまで進めてきているので、何とかご理解いただきたいと思う。

### 参加者 14

私は建築家でもないが、皆さんが集まる説明会にしては図面があまりにも簡素過ぎて、もう少し丁寧な図面が欲しかった。

また、ここで見るには当たりが悪いのではないか。それと教室が狭いのではないか。計画されている図面を見ると教室が6つある。これ(プレハブ棟)を6つに割るとどのくらいの広さになるのか。その辺の想像でものを言いたいのだが、狭いと思う。廊下にしても隣の教室の声が聞こえるのではないか。その辺の設計をした方はどうなのか。ただ写真と図面を見ると朝日があたると西日が当たるのと一日中日が当たらない教室があるような気がする。その辺のところをどう考えて設計されたのか。それと学校とする玄関がどこにあるのか。それと今私たちがここで話し合いをしていることをあまりに粗末にしている。これから何十年、10年から20年を使う学校のことを話している。その辺のところをプレハブという考えをしたくない。その辺のところは図面を見てもどのくらいの予算を立てているのか分からないが、皆さん何回も何回も集まって話し合いをしてきたので、もう少し丁寧にやって欲しいと思う。

### 教育総務課長

まず、図面であるがこれは設計図面ではない。だいたいこのような間取りになるというのを示したものである。これから設計を含めた委託を出すので、これを基に建てるというものではない。あくまで間取りのイメージとして作ったものであるとご理解いただきたい。また、日当たりについては、これまでと重複するが、限られた敷地の中での配置であるため、できる限りのことをしたということをご理解をいただけたらと思う。

### 参加者 15

プレハブの位置をもう少し端に寄せて、特別教室との隙間をあけるとか、Lの字やコの字にはできないのか。

### 教育総務課長

Lの字というのは間取りのロスの関係で難しいと思う。北にずらすとか西にずらすとか。コの字は中廊下になっているので、難しいものがある。少しずらして東からの日が入りやすくするのは可能かと思う。

### 参加者 15

内側に廊下を造って外側に教室にすればよいのではないのか。

### 教育次長

Lの字など、角ができるのは難しいのではないかと思う。配膳の位置や車の通る位置を考えないといけない。

### 教育総務課長

何とか平屋の中で完結させようという思いもある。2階建てにするとその分費用もかかるので、できるだけそこを抑えるという考えがある。できるだけ西に移動させるということは可能かと思う。

### 参加者 16

例えば放課後児童クラブを外に出す。極端に言うと（特別教室棟の）家庭科室を放課後児童クラブにして、新校舎を小さくして予算を削って、真横にして南から光が当たるようなことは無理なのか。放課後児童クラブは子どもが「さようなら」をして学校から家に帰ってくる代わりのところ。同じところに「さようなら」で隣の部屋に行くと、子どもも気分が変わらないし、学校の運営上もどうかと思う。仮にこの校舎（特別教室棟）のどこかに放課後児童クラブができて「さようなら」子どもが帰った時に、一息ついて場所が

変わった、家に帰った感じがするようになるし、お金も安くなるし、日当たりも良くなると思う。

#### **教育総務課長**

今も木造の中にあるので、それをどうするかということで収めている。確かに完全に別のところというのの一つの発想としてはあるのだと思う。ただ、それは別に予算が発生し、結局トータルとしては分けることによって高くなることもある。新たに建てるとなれば、改修であれば話も変わってくるが。それもあって中に入れていく。

#### **参加者 16**

ここですぐに答えは出ないと思う。きっと学校の先生方も運営上困るのではないかと想像する。放課後児童クラブの指導員にしても。検討して欲しい。

#### **教育総務課長**

校長先生には事前にこのレイアウトをお見せして説明しているところではある。繰り返しにはなるが、基本的にこの形、これが最終的な案として考えているので、ここから動かすと来年度（令和6年）の春に供用開始は無理になるので、そのあたりはご理解をいただきたい。

#### **参加者 17**

ここに座っている方、そちら側に座っている方もそうだと思うが、来年度（令和6年）の春には、是非、是が非でも、何が何でも新しい校舎が建てて子どもの安全を確保して欲しい。確保したい。そこはみんな同じ願いである。来年度（令和6年）の4月には新校舎が建て、そこで子どもたちが安全に安心して過ごせる。是が非でも何が何でも否決されることなくお願いしたい。そうだとしたら、この図が動かさないのであれば、あとは何ができるのか。教室の配置を変える、窓の大きさは変わるのか。天窗を付ける。天井高を高くする。何ができるのか。とりあえずこのレイアウトで可決して、可決した後手直しをして、より良い教育環境ができるように工夫するとすれば、何ができるのか。今いくつ案を持っているのか教えて欲しい。

#### **教育総務課長**

可決した後は難しい。予算がそこで可決している。そのため、予算案をあげる前に如何にしていくかということになる。プレハブであるので、ある程度規格が決まっているので、天井高などは設計ができるし、窓の大きさも調整が聞くと聞いているので、そういったところでの工夫はできると思う。

**参加者 17**

赤い屋根にすることも含めて、是非そういった工夫をお願いしたい。

**教育総務課長**

検討したいと思う。

**参加者 18**

保護者としては早く決着をつけて欲しいと思う。みんな若い世代はそういったことを言っている。代表者として言わせてもらうが、地震の話から、耐震の話からして長いと思う。本当に我満してきている。第一に子どもの安心と安全が保障されるのであれば、今の案でも良いと思う。本当に早急にしていただきたいと思う。

**教育総務課長**

ありがとうございます。

**参加者 19**

このイメージの段階で説明会ということであるが、予算にあげて議会で決するまでに、このイメージが更に付け足されて議会にかかるということでのいいの。これだとどこが出入り口でとか、窓の大きさとか、色とかそういったところがまだ分からないので、予算もいくらかかるか分からないということなので、どこまで意見を言ってどこまで反映されるのかイメージがつかない。

**教育総務課長**

これを基にして、天井高をどうするかとか窓の大きさとかの仕様を固めていく。その仕様に基にして参考見積を取り、予算化していく。そのため、その仕様を固めていく段階でどこまで盛り込めるかということになっていく。放課後児童クラブを北に動かすなど、中を動かすことは可能であるが、レイアウトそのものの変更は難しい。渡り廊下の長さをどの程度にするかなどは工夫できるとは思っている。この場であった意見のように、もっと西に動かして東からの光を取り込めるようにするなどの工夫はできると思っている。

**参加者 13**

中廊下でなかったら、両側の教室に外の景色が見える窓が作れるので、このような穴倉のような教室は、私は嫌いである。外の景色が見えないといけ

ない。隣の教室の先生の声やみんなの声が聞こえる。狭い教室なので。使う人の身になって欲しい。経費がこれしかできないという前に、もう少しよい案ができると思う。考えてもらうことはできないのか。

#### **教育総務課長**

繰り返しになるが、制約の中で何ができるのかを考えているので、ご理解をいただきたい。

#### **参加者 20**

今回の資料は新聞にのっていた金額に沿ったものと考えたらよいか。

#### **教育総務課長**

2月の頭くらいの記事のことであれば、その記事の金額でイメージしていただいてもよい。

#### **参加者 20**

新聞の記事のとおり決まっていってよいか。

#### **教育総務課長**

金額は議会に対する説明をした際に示したものであり、記事になったもの。今日は、お金がいくらになるかではなく、レイアウトがどうなるかというお話で伺っている。資料に記載はないが、金額は新聞記事の程度とさせていただいてよい。

#### **参加者 21**

これから議会に向け準備して、皆さんが言われるように来年（令和6年）の4月にはプレハブが建築され、子どもの安全が確保できるようにしていただければ困る。先程から皆さんがおっしゃっているが、この2枚の資料で説明いただくのは少し足りないのではないのか。皆さんがたくさん考えていただいて、早くしていただけていると思うが、もう少し丁寧な資料が欲しかった。予算の関係のことであつたり、こういった経緯でこのような図面になりますという説明であると、どうしても皆さんこのような意見が出て、また長引いてしまうと思う。まだこれから1回、2回と説明があるのなら、もう少し丁寧な、自分が家を建てるならこの程度の説明は欲しいといったところも含めて、資料は準備して欲しいというのが率直な意見である。これだと、今日はこんな感じか。帰ろうかという感じになる。

**参加者 22**

木造校舎の今後の予定を教えて欲しい。

**教育総務課長**

現時点では決まっていない。令和5年度中に方針決定をする。

**参加者 23**

プレハブ棟に二重窓や断熱材、空調は準備してもらえるのか。

**教育総務課長**

空調はもちろん準備する。二重窓の予定は今のところない。断熱材は当然ある。

**参加者 23**

もう一つ。今回は説明をするだけで、私たちの意見を採用する気はないような印象を受けた。いつもアンケートがあるが、今回はない。ここに来た人の意見しか聞かないのか。ここに来ない人の意見は聞くことがないのか。

**教育総務課長**

これまでは複数の案を示してどれが望ましいかのご意見を伺っていたが、今回は最終的な玉野市としてはこれで進めたいということの説明と考えている。もちろんいただいた意見で、取り入れるものもあるが、ここから大きく変わることはないということでご容赦いただきたい。

**参加者 24**

今回以降の説明会もないのか。

**教育総務課長**

今回のプレハブ棟、改修に関しては、これで最後と考えている。次の予定はない。

**参加者 13**

今回いろいろと意見があったが、持って帰ってもう一度検討しようという考えはないということか。最終的な説明ということか。

**教育総務課長**

そのように考えている。

**参加者 13**

今回の意見は取り入れないということか。

**教育総務課長**

取り入れることが可能なものは取り入れる。先程のとおりプレハブ棟をもう少し西に移動して、東からの光を入りやすくするなどの対応はしていきたいと思う。

**参加者 13**

説明会でいろいろな意見があったので、少しでも取り入れて、もう一度検討してもらいたい。

**教育総務課長**

お気持ちは分かるが、これまでに一年以上このプレハブ案については意見交換をしている。それをできる限り取り入れた形として、数々の制約の中でできる最高のものとしてお示ししているのでご理解いただきたい。

**参加者 12**

概算の金額は去年否決された金額より低いのか。

**教育総務課長**

去年は設計と施工合わせて2億6500万から7000万という想定であった。今回は概ね2億円と想定している。これから仕様を固めて見積もりが出てからであるが、それくらいの想定である。

**参加者 12**

16メートルのプレハブは見たことがないが、かなりの金額になると思う。梁間が半分の方が絶対に安くなる。今の古い校舎を3年生のあたりまで倒して、横に一行にするなど、倒す費用が余分に必要となるが、平屋を横に長い方が安くなると思う。どちらにせよ校舎は倒さなければならないと思うので。せめて校長室から入口のあたりまで残して、3年生のあたりまで倒せば、横に南向きの教室が取れるのではないか。敷地はあるので。長い間かかってきて、今になって日にちがないので、これで行くと言われても、短い間でもいろいろと考えて欲しい。今回知らない間にこのような形になっている。最初

からこのようにしようと決めていたのか。決めていたうえで何回も説明会をしてきたのか。

**教育総務課長**

昨年（令和4年）の6月に耐震化の方向で予算計上していたので、昨年（令和4年）の段階では耐震化をするという方向で動いていた。それが否決されたため、それに代わる案として今回お示ししている。

**参加者 12**

最初からプレハブの案はあった。

**教育総務課長**

その時はプレハブに職員室が入る案であった。できる限り（特別教室棟の）多目的ホールを使えるようになど皆さんのご意見を取り入れて、できるだけご意見に沿うような形でお示しをしている案であると考えている。

**参加者 12**

土地はある。

**教育総務課長**

土地があるというのは木造校舎を倒してからの話であるため、木造校舎に対して議論があると思う。倒してそこに建てるとの舵を切るわけにもいかない。

**参加者 12**

真っ暗で、真ん中に廊下があるような学校はない。まして土地があるのに。5年も6年もかけて話し合いをしているので、もう少しよい案はないのか。議会で可決することが一番であるが。

## 5. 閉会

### 教育長

たくさんの方に説明会にご参加いただき、感謝を申し上げます。私たちも皆さんと一緒に来年（令和6年）4月には子どもたちが新しい校舎で学べると言うことを考え、この場に立っている。何卒ご理解をいただいて、本日の案ももちろん、この教室の配置等は学校側としっかり協議をしながら、子どもたちの動きにあった形にしたいと思っているので、この案で進めさせていただけたらと思っている。いろいろご心配をお掛けして申し訳ない。

本日は大変ありがとうございました。